



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タダノ

コード番号 6395 URL <http://www.tadano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田野 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理部部長 (氏名) 橋倉 荘六

TEL 087-839-5600

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	62,462	23.9	4,257	94.1	3,558	117.5	2,190	93.6
24年3月期第2四半期	50,415	22.0	2,193	—	1,636	—	1,131	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 1,317百万円 (△27.2%) 24年3月期第2四半期 1,809百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.26	—
24年3月期第2四半期	8.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	164,100	—	78,924	—	47.6
24年3月期	161,176	—	78,518	—	48.2

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 78,146百万円 24年3月期 77,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	15.6	8,500	44.2	7,500	29.8	4,700	49.4	37.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) タダノ・ファウン GmbH
(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	129,500,355 株	24年3月期	129,500,355 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,564,271 株	24年3月期	2,546,528 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	126,945,516 株	24年3月期2Q	126,998,173 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復旧・復興需要に支えられ、底堅さはみられるものの、海外経済の減速・円高の継続・エコカー補助金による政策効果の一巡等を受けて、足踏み状態になっております。米国経済は緩やかに回復しておりますが、欧州経済は債務危機継続により低迷し、中国等新興国は成長の減速感が強まっております。

私どもの業界は、国内では復旧・復興にともなう稼働率の上昇が老朽化による買い替えを後押しし、海外ではエネルギーや資源関連を中心に北米・アジア・豪州等で、需要は大幅に増加しました。

国内売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーンの売上が揃って大幅に増加し、316億4千2百万円（前年同期比121.0%）となり、海外売上高は、円高ながらも旺盛な需要を背景に大幅に増加し、308億2千万円（前年同期比127.0%）となりました。この結果、総売上高は、624億6千2百万円（前年同期比123.9%）となりました。なお、海外売上高比率は、49.3%となりました。

経常利益につきましては、米国子会社での不正行為にともなう貸倒引当金繰入2億7千7百万円や為替差損3億7千1百万円を計上しましたが、販売価格の適正化や売上増加にともなう粗利増加もあり、35億5千8百万円（前年同期比217.5%）となりました。四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損7千2百万円を計上し、21億9千万円（前年同期比193.6%）となりました。

さて、本年6月9日に公表しました当社連結子会社タダノ・アメリカ Corp. の元副社長の不正行為により、多額の損失を被ることとなり、株主・投資家の皆様をはじめ、関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。この事態を厳粛に受け止め、海外子会社の管理体制見直しによる牽制機能の強化・当社の海外子会社に対するモニタリング機能の強化等により、再発防止を図り、信頼回復に全力で取り組んで参ります。

なお、最大損害額900万ドルのうち、2011年度迄に発生した313万ドルは既に費用化済みで、残りの587万ドルを含め、第1四半期にて未収入金に計上すると共に、回収見込み額を勘案した上で、貸倒引当金を計上しております。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①日本

日本では、高所作業車の売上は横ばいながら、建設用クレーン・車両搭載型クレーンの売上が揃って増加し、売上高は524億4千5百万円（前年同期比122.0%）となり、営業損益は31億6千9百万円の利益（前年同期比225.2%）となりました。

②欧州

欧州では、建設用クレーンの売上が欧州域内・域外共に増加し、売上高は123億3百万円（前年同期比125.8%）となり、営業損益は3億1千万円の利益（前年同期7千2百万円の損失）となりました。

③米州

米州では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は103億7千9百万円（前年同期比145.1%）となり、営業損益は7億9千6百万円の利益（前年同期比464.0%）となりました。

④その他

その他地域では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は58億4千5百万円（前年同期比140.9%）となり、営業損益は4億5百万円の利益（前年同期比97.5%）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。

①建設用クレーン

国内売上につきましては、復旧・復興にともなう稼働率の上昇が老朽化による買い替えを後押しし、需要が大幅に増加するなか、引続き販売価格の適正化に取り組み、116億3百万円(前年同期比131.6%)となりました。

海外売上につきましては、円高継続による逆風のなか、北米・アジア・豪州等の需要回復を背景に販売注力し、248億6百万円(前年同期比131.5%)となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は、364億9百万円(前年同期比131.5%)と大幅な増加となりました。

②車両搭載型クレーン

国内売上につきましては、復旧・復興需要やエコカー補助金等によるトラック需要の増加に加え、トラックへの搭載率の上昇もあり、67億5千1百万円(前年同期比148.7%)となりました。

海外売上につきましては、7億5千7百万円(前年同期比116.4%)となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は、75億9百万円(前年同期比144.7%)と大幅な増加となりました。

③高所作業車

需要回復が顕著なレンタル業界向けを中心に販売注力しましたが、電力電工向けの落ち込みもあり、高所作業車の売上高は、58億9百万円(前年同期比102.1%)と横ばいとなりました。

④その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、127億3千3百万円(前年同期比107.4%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ29億2千4百万円増加の1,641億円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少17億2千2百万円や投資有価証券の減少11億3千6百万円があったものの、たな卸資産が60億7千4百万円増加したことによるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ25億1千8百万円増加の851億7千6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加12億8千8百万円や有利子負債の増加12億8千9百万円があったことによるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加の789億2千4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少6億8千4百万円や為替換算調整勘定の減少1億6千5百万円があったものの、利益剰余金が13億2百万円増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ7億8千4百万円減少の393億7千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用された資金は、4億3千9百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上34億5千4百万円や売上債権の減少17億7千2百万円に加え、仕入債務の増加11億1千9百万円があったものの、たな卸資産の増加62億8千7百万円や法人税等の支払5億4千2百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された資金は、7億8千5百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得7億8千8百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は、3億9千1百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純増18億2千万円や長期借入による収入5億1千7百万円があったものの、長期借入金の返済9億2千7百万円や配当金の支払9億1百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、先行き不透明な状況になっております。

私どもの業界は、主力の建設用クレーンにおいて、国内需要は買い替えを背景に増加、海外需要はエネルギー関連を中心に堅調さを維持するものと見込んでおります。また、車両搭載型クレーンの国内需要は堅調、高所作業車は増加と見込んでおります。

当社グループの年度後半の業績は、円高等により海外で苦戦が予想される一方で、国内は堅調に推移するものと見込んでおります。

このような経営環境のなか、通期売上高は前回予想通りとし、利益については上期実績値を踏まえ、本年4月27日発表の通期業績予想を次のとおり変更することとしました。

平成25年3月期通期連結業績予想値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	132,000	7,500	7,000	4,500	35.45
今回発表予想 (B)	132,000	8,500	7,500	4,700	37.03
増減額 (B-A)	0	1,000	500	200	
増減率 (%)	—	13.3%	7.1%	4.4%	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	114,209	5,895	5,778	3,145	24.77

なお、通期業績見通しの為替レートは、前回予想と同じく80円/米ドル、105円/ユーロを前提としております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、タダノ・ファウン GmbH は平成24年5月11日付でファウン GmbH に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、存続会社であるファウン GmbH は同日付でタダノ・ファウン GmbH に商号変更しております。

また、合併の効力は平成24年1月1日に遡って発生しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、従来の方法に比した当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,225	39,441
受取手形及び売掛金	35,041	33,319
商品及び製品	17,912	20,450
仕掛品	9,253	11,706
原材料及び貯蔵品	7,039	8,123
繰延税金資産	1,905	2,446
短期貸付金	1,136	996
その他	2,010	3,087
貸倒引当金	△480	△949
流動資産合計	114,045	118,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,314	8,952
機械装置及び運搬具(純額)	2,617	2,456
土地	19,704	20,004
リース資産(純額)	385	385
建設仮勘定	475	618
その他(純額)	951	963
有形固定資産合計	33,449	33,381
無形固定資産	867	795
投資その他の資産		
投資有価証券	6,234	5,097
繰延税金資産	4,089	3,742
その他	2,914	2,880
貸倒引当金	△423	△418
投資その他の資産合計	12,813	11,301
固定資産合計	47,130	45,478
資産合計	161,176	164,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,331	29,619
短期借入金	7,568	8,886
リース債務	204	220
未払法人税等	805	1,379
引当金	960	1,079
未払金	2,843	2,498
割賦利益繰延	353	255
その他	3,412	3,124
流動負債合計	44,480	47,063
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	9,883	9,858
リース債務	445	425
繰延税金負債	164	162
再評価に係る繰延税金負債	2,455	2,455
退職給付引当金	4,704	4,676
その他	525	533
固定負債合計	38,177	38,112
負債合計	82,657	85,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,846	16,846
利益剰余金	55,454	56,756
自己株式	△2,228	△2,238
株主資本合計	83,094	84,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,016	332
土地再評価差額金	294	294
為替換算調整勘定	△6,701	△6,866
その他の包括利益累計額合計	△5,389	△6,239
少数株主持分	813	777
純資産合計	78,518	78,924
負債純資産合計	161,176	164,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	50,415	62,462
売上原価	39,096	47,635
割賦販売利益繰延前売上総利益	11,319	14,826
割賦販売未実現利益戻入額	178	138
割賦販売未実現利益繰入額	17	40
売上総利益	11,480	14,924
販売費及び一般管理費	9,286	10,667
営業利益	2,193	4,257
営業外収益		
受取利息	39	44
割賦販売受取利息	82	36
受取配当金	67	64
負ののれん償却額	1	—
その他	98	168
営業外収益合計	289	313
営業外費用		
支払利息	338	280
貸倒引当金繰入額	—	277
為替差損	443	371
その他	64	83
営業外費用合計	846	1,013
経常利益	1,636	3,558
特別利益		
固定資産売却益	85	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	85	0
特別損失		
固定資産除売却損	6	28
投資有価証券評価損	—	72
会員権評価損	—	3
特別損失合計	6	104
税金等調整前四半期純利益	1,714	3,454
法人税、住民税及び事業税	414	1,121
法人税等調整額	141	166
法人税等合計	555	1,287
少数株主損益調整前四半期純利益	1,159	2,166
少数株主利益又は少数株主損失(△)	27	△23
四半期純利益	1,131	2,190

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,159	2,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△684
為替換算調整勘定	733	△164
その他の包括利益合計	649	△849
四半期包括利益	1,809	1,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,772	1,340
少数株主に係る四半期包括利益	36	△22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,714	3,454
減価償却費	1,160	1,042
負ののれん償却額	△1	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△234	466
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1	△19
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△161	△98
受取利息及び受取配当金	△107	△108
割賦販売受取利息	△82	△36
支払利息	338	280
為替差損益 (△は益)	137	74
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	72
固定資産除売却損益 (△は益)	△78	28
売上債権の増減額 (△は増加)	2,932	1,772
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,480	△6,287
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,030	1,119
その他	13	△1,521
小計	6,183	240
利息及び配当金の受取額	107	108
割賦販売受取利息の受取額	68	30
利息の支払額	△342	△276
法人税等の支払額	△333	△542
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,684	△439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△374	△788
有形固定資産の売却による収入	118	4
投資有価証券の売却による収入	—	13
その他	△41	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297	△785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△283	1,820
長期借入れによる収入	—	517
長期借入金の返済による支出	△410	△927
自己株式の取得による支出	△6	△10
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△381	△888
少数株主への配当金の支払額	△8	△13
その他	△88	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,177	391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,117	△784
現金及び現金同等物の期首残高	30,367	40,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,485	39,371

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	欧州	米州	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,103	6,155	7,059	46,318	4,097	50,415	—	50,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,899	3,625	93	13,618	49	13,668	△13,668	—
計	43,002	9,780	7,153	59,936	4,147	64,084	△13,668	50,415
セグメント利益又は損失(△)	1,407	△72	171	1,506	415	1,922	271	2,193

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額271百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	欧州	米州	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,745	7,797	10,222	56,765	5,697	62,462	—	62,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,699	4,505	156	18,362	148	18,510	△18,510	—
計	52,445	12,303	10,379	75,128	5,845	80,973	△18,510	62,462
セグメント利益	3,169	310	796	4,276	405	4,681	△424	4,257

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△424百万円が含まれております。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。